



図書館だより



2023年
1月20日号

秋草学園高等学校 図書館

2023年がスタートしてから3週間が経とうとしています。遅くなりましたが、みなさん今年も図書館をよろしくお願いいたします。昨日、第168回芥川賞・直木賞の発表があったばかりですが、今年もたくさんの本が話題にあり、みなさんの耳へと届くことでしょう。図書館からも館内の展示や図書館だよりなどを通し、本にまつわる色々な情報を発信していきます。みなさんに本とのいい出会いがたくさんありますように。3年生は卒業まであと1ヶ月と少しくなりました。読み残しのないよう気になっている本をどんどん読みにきてください。

"うさぎ"の本、集めました

干支とは十干十二支の略で、太陽を象徴とした生命の循環を表した十干（じっかん）と十二支の組み合わせでできたもので、今年（みずのとう）に当たります。調べてみると、癸卯は若葉が生い茂る年とされるそうです。みなさんが蒔いた努力の種もきつとぐんぐんと芽を出し、立派に実る年になることでしょう。それぞれの目標に向かって頑張ってください。

図書館では、卯（うさぎ）年に合わせて、うさぎが登場する本、書名にうさぎのつく本などを集めました。

645-7 『うさぎの品種大図鑑』

町田 修 || 著 誠文堂新光社

うさぎと聞いて浮かべるのは右のイラストのような姿だと思いますが、顔や耳の形、毛並みや模様、大きさなど色々な種類のうさぎがいます。この本で紹介されているのは47品種のうさぎたち。どのうさぎもとても愛くるしく、眺めているだけでほっこりと癒されます。



913.6-1 『モモコとうさぎ』

大島 真寿美 || 著 角川書店

就職活動に挫折し、部屋で裁縫に熱中するモモコ。現実逃避のような生活を続けたある日、モモコはぬいぐるみのうさぎを1匹連れ、無計画に家を飛び出す。友や兄を頼っては追い出され、それでもタフに放浪の旅のような家出を続ける彼女に何か変化は起こるのか。

933-キ 『ふしぎの国のアリス』

ルイス=キャロル || 作 偕成社

白ウサギを追って穴に落ちたアリスが辿り着いた先は不思議の国。背は伸び縮みするし、虫や動物は勝手気ままに喋っているし、ティー・パーティーは散々だし、ハートの女王は恐ろしいし、もう大変。だけど、アリスはそんな不思議の国をたくましく冒険していくのです。

"冬"といえはの、この1冊

913.6-1 『ジェリーフィッシュは凍らない』

市川 憂人 || 著 東京創元社

特殊技術で開発された小型飛行船「ジェリーフィッシュ」が航行試験中に墜落し、技術開発メンバー6人が命を落とした。しかし、調査が進むと6人の死因は墜落とは別にあることが判明する。凍てつく雪山に墜落したジェリーフィッシュの中で彼らに一体何が起きたのか。

913.6-1 『雪だるまの雪子ちゃん』

江國 香織 || 著 偕成社

雪子ちゃんは野生の雪だるま。ふつうの雪だるまと違い、自分で動けるし、話もできるし、トランプだってできます。好きな食べ物はバター。まだ子どもだけど、小さな村にひとり暮らし、人間の友だちもいます。まっすぐな心を持った雪子ちゃんの姿に心が洗われていく物語。

新着コーナーの気になる本

372-キ 『6カ国転校生ナージャの発見』

キリーロバ・ナージャ || 著 集英社イタ-リヤル

両親の転勤で生まれ故郷のソ連（現ロシア）、日本、イギリス、フランス、アメリカ、カナダと6つの国の地元校を体験したナージャは様々な違いを発見します。筆記用具、座席、科目、テスト、ランチ、彼女と一緒に6つの国の学校生活を疑似体験してみましょう。

913.6-ヤ 『サブスクの子と呼ばれて』

山田 悠介 || 著 河出書房新社

サブスクリプションは、定額料金を支払い、商品やサービスを一定期間利用するビジネスの形式。もしそこに子どもをサブスクする闇のビジネスがあったとしたら。生活のため違法な仕事に手を染める少年少女たちが悲劇に巻き込まれていく。その先に待つ衝撃の結末とは。

司書の今月はこの本読みました

帰省中、母の作ったカレーをひさしぶりに食べたら、「我が家の味」が口いっぱいに広がり、お腹と心が満たされました。そして、その後に読み始めたのが寺地はるなさんの『カレーの時間』（913.6-テ 実業之日本社）です。主人公は頑固でがさつな祖父とその孫 桐矢くん。自分とはまったくタイプの違う祖父が苦手だった桐矢くんですが、一緒に暮らし、祖父のことを深く知っていく内に憎めないところをいくつも見つけていきます。作中に登場するカレーもおいしそうですが、カレーに負けずおじいさんと桐矢もおいしい味を出していてクセになりました。【今井】